

国内最大の計測・制御技術の専門展

計測展 2011 TOKYO

計測と制御で創る未来の地球～復興、そしてその先へ～

有力企業の技術・製品

順不同

横河電機

横河電機は「計測展 2011 TOKYO」をユーザーと理想のプラントに対する考え方を共有する場として展示する。

同社は今年12月で105周年を迎え、来年4月に社名を山武からアズビルに変更する。快適な暮らしや生産現場、建物、工場などを「人を中心としたオートメーション」のもと、「安心」「快適」「達成感」を実現していく。

横河電機は「計測展 2011 TOKYO」を見つけて「解いて」、そして操業を向上するための実例やソリューション、製品を展示。処理速度・アプリケーション容量を大幅に向上させ、業界最高クラスの性能を実現した統合生産制御システム「CUNTUM VP リリース5」や防爆仕様のフィールド無線機器など、これからプラントに欠くことができない新技術を紹介する。

テーマ展示コーナーでは「YOKOGAWAの省エネシステム」の構築事例や製品を紹介。また「Autumne」と題して、東京ビッグサイトで同時開催されるほかの展示会を含め6カ所にブースを構え、グループの総合力をアピールする。

山武

有力企業の技術・製品

順不同

田中電気研究所

堀場製作所

環境水質計測を通じ 地球環境保全に貢献

TOADKK

サンプリングが不要な
浸漬型検出器を採用

有機汚濁モニターUV計
OPM-1610

新方式の光学系を採用
小型軽量化、
省電力化実現

ワイヤー洗浄付きで
長期間の安定性
を確保

OPM-1610 検出器

パルスエアジェット
洗浄付き検出器
PHC-7D PHCG-7D/95D

パルスエアジェット
洗浄方式イメージ図

電極は、チップ交換式
(PHCG-7D/95D)

簡単メンテナンス、
ランニングコスト節減

東亜ディーケーケー小間
東4ホール No.E-3
お待ちしております。

工業用pH/ORP計電極の自動洗浄に
パルスエアジェット
洗浄付き検出器
PHC-7D PHCG-7D/95D

ホームページ <http://www.toadkk.co.jp/>

ISO9001 ISO14001

認証取得

本社/〒169-8648 東京都新宿区高田馬場1-29-10 TEL.03(3202)0218

●東京: 03(3202)0221 ●大阪: 06(6312)5100 ●札幌: 011(726)9859 ●仙台: 022(723)5734 ●筑波: 029(857)4091
●千葉: 0436(23)7531 ●神奈川: 045(222)1361 ●静岡: 054(236)0106 ●名古屋: 052(324)6335 ●岡山: 086(423)5181
●広島: 082(297)7370 ●四国: 087(831)3450 ●四国: 087(831)3450 ●九州: 093(551)2727 ●長崎: 095(865)0921

ピーアンドエフ

ピーアンドエフは新技術 DART（ダイナミック・アーチ・リコグニション・アンド・ターミネーション）を紹介する。DART 製品としてフィールドバス「セグメントプロトクタ」と「パワーハブ」を出品す。DARTはフィールドバスにおける本質安全防爆マニフェストの電気エネルギー制限を取り去った新しいテクノロジー。スパーク発生直前の電流変化を検知し、電源を遮断して爆発を防ぐ様子をデモ機で紹介する。

山武は「現実解を見て・感じて・確信」をテーマに、新技術のオペレーション「エネルギー・セット・マネジメント」「生産性向上」「エンジニアリング&サービス」など六つのゾーンを開設。テーマごとに注力製品の展示や具体的な解決策を提案する。

同社は今年12月で105周年を迎え、来年4月に社名を山武からアズビルに変更する。快適な暮らしや生産現場、建物、工場などを「人を中心としたオートメーション」のもと、「安心」「快適」「達成感」を実現していく。

東亜ディーケーケー

HORIBAグループは「水インフラ」「エネルギー」「安心・安全」をキーワードに、産業プロセス計測や放射線計測から、温暖化はじめとする地球環境の監視、食の安全性、次世代エネルギーとして注目される太陽電池やリチウムイオン電池の材料評価に至るまで、さまざまな分野の分析・計測ニーズに応える最新の計測機器を展示する。

田中電気研究所は環境の安全・安心・信頼を測定・数値化する技術を得意とする。なかでも工場や発電所などの固定発生源ダスト濃度計は高く評価されている。光散乱方式連続環境粉塵モニター「EDM 2010」は粉塵が発生する作業現場空間の管理用に開発。プロセス制御機器として粉塵濃度の365日連続測定が可能だ。インバーター制御盤と組み合わせれば集塵機の省エネ運転も実現できる。スパン校正の自動化やエアバージ機構内蔵により、メンテナンス負担は大幅に軽減される。

このほか、高密度型ノンサンプリング光散乱式ダスト濃度計「DDM H AL2」、ソーラー避難誘導塔「AE TOWER」を紹介する。

東亜ディーケーケー

東亜ディーケーケーは「計測展 TOKYO 2011」にランプの光量安定化のためのヒーターが不要となつたことや、省電力型のランプを採用したことなどによって、同社の従来機と比べて約80%の消費電力低減を実現した「有機汚濁モニターUV計」や「蛍光式溶存酸素計」「油膜検知器」などの環境プロセス分析計を展示する。

堀場製作所は、上水分析計として給水末端の多項目水質連続監視が可能な「水道水用水質自動測定装置」などを紹介する。さらに、地震などの緊急対応用としても活用することができる上水向けの「浸漬型残留塩素計」、省試薬化によってランニングコストの低減を図った「ふつ素イオン測定装置」を参考出品する。

堀場製作所

HORIBAグループは分析計「PG 300」や自動COD測定装置「CO DA 500」、現場型工業用水質計「H 1シリーズ」、「pH・水質計「LA QUA」、環境放射線モニター「PA 1000」などはいずれも新製品で、注目を集めそうだ。また会期中、テクニカルセミナーでは新製品の紹介や最近の各種計測分野の現状など4テーマを用意している。